



平成 28 年 3 月 14 日

各 位

会 社 名 東 洋 証 券 株 式 会 社
代 表 者 取 締 役 社 長 大 畠 勝 彰
(コード：8614、 東証第1部)
問 合 せ 先 経 営 企 画 部 長 松 本 誠
(TEL 03-5117-1255)

平成 28 年 3 月期の期末剰余金配当予想に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月 14 日開催の取締役会において、下記のとおり平成 28 年 3 月期の 1 株当たり期末剰余金配当予想について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

当社は、本年 12 月に創業 100 周年を迎えます。これもひとえに株主のみなさまをはじめとする関係各位の日頃のご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

つきましては、株主のみなさまの日頃のご支援に感謝の意を表し、平成 28 年 3 月期の期末配当金について、1 株当たり普通配当 7 円 00 銭、記念配当 6 円 00 銭の合計 13 円 00 銭とする方針といたしました。

なお、本件の期末配当金の正式決定は、当社定款の定めに基づき、平成 28 年 5 月に開催する決算に関する取締役会において行う予定です。

	平成 28 年 3 月期 (予想)	平成 27 年 3 月期 (前期実績)
1 株当たり期末配当金	13 円 00 銭 (普通配当 7 円 00 銭) (記念配当 6 円 00 銭)	12 円 00 銭 (普通配当 12 円 00 銭)

当社は中間配当制度を導入いたしておりません。

以 上

(参考) 利益分配に関する基本方針

当社は、株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置付けております。

利益配分にあたっては、経営基盤の確立のための内部留保の充実に配慮し毎期の業績を反映しつつ、株主資本と収益環境の状況を総合的に勘案し、年 1 回の剰余金の配当や機動的な自己株式の取得により株主のみなさまに利益の還元を実施することを基本方針としております。

剰余金の配当については、配当性向年間約 30%を目安としつつ、安定性にも配慮し分配可能額に占める割合を指標としております。